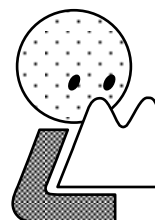


絵本の世界へ⑤

～むかしばなしえほん～

大阪市立図書館 2009



赤ずきん グリム原作 バーナーディット・ワッツ絵 生野幸吉訳 岩波書店 32cm 33p 0000226447

赤ずきんは、ワインとお菓子を持っておばあさんの家にお見舞いに行く途中、森の中でオオカミに出会い、道草をしてしまいます。よく知られたグリムの昔話を鮮やかな色彩と丁寧な文章で描いています。

いっすんぼうし いい ももこ著 あきの ふく絵 福音館書店

21×22cm 40p 0000226317

親指ほどの小さな体の一寸法師が、お椀を舟に、針を刀にして都へのぼります。丁寧につづられた文章と、優しいタッチで描かれた絵巻物のような雰囲気の写真がうまく調和しています。



うまかたやまんば おざわ としお再話 赤羽末吉絵 福音館書店 22×25cm 31p 0000183443

恐ろしいやまんばに追われて、うまかたが逃げこんだのは、当のやまんばの家でした。宮城県に伝わる昔話を、見開き画面を縦横自在に使い分け、擬音も効果的に使った読みやすい文章に再話しています。

王さまと九人のきょうだい ー中国の民話ー 赤羽末吉絵 君島久子訳 岩波書店 26cm 44p 0000226443

顔もからだつきもそっくりな9人の兄弟は、それぞれの特技を活かして、悪い王様をやっつけます。無理難題を言いつける王様が、最後に波にのまれてしまうのも痛快です。

おおかみと七ひきのこやぎ グリム兄弟原作 フェリクス・ホフマン絵 せた ていじ訳

福音館書店 22×30cm 32p 0000226420

お母さんやぎの留守を狙い、オオカミはまんまと6匹の子やぎを丸呑みにします。難を逃れた末っ子やぎとお母さんやぎは機転をきかせて子やぎたちを助け出します。細密な描写と落ち着いた彩色が美しくお話をひきたてています。

おおきなかぶ ーロシアの昔話ー A. トルストイ再話 佐藤忠良絵 内田莉莎子訳 福音館書店

20×27cm 27p 0011402352

おじいさんの植えたカブは大きく育ち、なかなか抜けません。そこで、おばあさんを、次に孫を、犬、猫、ネズミと順々に呼び、一緒になって引っぺします。「うんとしょ どっこいしょ」のかけ声が楽しめます。

おだんごぱん ーロシアの昔話ー せた ていじ著 わきた かず絵 福音館書店 31cm 23p 0011745207

おじいさんとおばあさんのもとから逃げ出したおだんごぱんは、食べられそうになる度に、歌いながら逃げて行きます。温かくおおらかな絵が、独特の、のんびりした雰囲気を生み出しています。

おどりトラ ー韓国・朝鮮の昔話ー 金森襄作再話 鄭【スク】香絵 福音館書店 27cm 32p 0000657697

笛の音が聞こえると踊りださずにはいられない踊り虎。木の上に逃げたきこりを捕まえようと、仲間の虎が順々に踊り虎の上に飛び乗って迫ります。その時、きこりが笛を吹き出したからたまりません。民族豊かな絵が躍動的です。

かにむかし 木下順二著 清水 崑絵 岩波書店 33cm 44p 0000230011

猿に殺されたカニの子どもたちが、栗、蜂、石臼たちの加勢を得て、仇討ちに向かいます。広く知られているお話がユーモラスな絵で描かれます。語りの特徴を活かした文章は声に出して読むと、より楽しめます。

ガラスめだまときんのつののヤギ ーベラルーシ民話ー スズキ コージ絵 田中かな子訳

福音館書店 22×31cm 31p 0011187419

おばあさんの畑に強いヤギが入りこみ、熊やオオカミでも追い出せませんが、最後に成功したのは小さな蜂だったという痛快な話です。昔話特有の繰り返しと、コラージュも使ったダイナミックな絵が魅力です。

三びきのこぶた ―イギリスの昔話― 山田三郎絵 瀬田貞二訳 福音館書店 27cm 18p 0011631966

お母さん豚からひとり立ちした3匹の子豚たちはめいめいで家をたてます。1番目と2番目の子豚はオオカミに食べられますが、3番目の子豚は知恵を働かせてオオカミをやっつけます。**元の昔話を忠実に絵本化**しています。

三びきのやぎのがらがらどん ―アスビョルンセンとモーの北欧民話― マーシャ・ブラウン著・絵

せた ていじ訳 福音館書店 26cm 30p 0080003949

3匹のヤギの名前はどれもがらがらどん。山の草場へ行く橋の下には恐ろしいトロルがすんでいて、ヤギたちをひとのみにしようと待ち構えます。うまくトロルをかわし、最後は谷底へ突き落とすヤギたちの活躍が**力強く**描かれます。

スーホの白い馬 ―モンゴル民話― 大塚勇三再話

赤羽末吉絵 福音館書店 23×31cm 48p 0000174618

モンゴルの楽器、馬頭琴の由来話です。羊飼いの少年スーホが大切に育てた白馬が競馬で優勝しますが、殿様はその馬を取り上げてしまいます。

壮大な平原を画面いっぱいに描き、**物語の舞台の雰囲気**をよく伝えます。



だいくとおにろく ―日本の昔話― 松居 直再話 赤羽末吉絵 福音館書店 20×27cm 27p 0011402359

むずかしい橋かけを頼まれ途方にくれる大工の前に、橋をかけてやるから目玉をよこせという鬼が現れました。あいまいな返事で逃れたものの、「目玉よこせ」「待ってくれ」と応酬は続きます。**迫力ある絵**のカラーと白黒のページの対比が絶妙です。

太陽と月になった兄弟 ―ボリビア民話― 秋野鞆子著・絵 福音館書店 23×31cm 48p 0000384550

太陽と月のなかった時代、暗闇から人々を救うために、魔物に立ち向かった兄弟の物語です。アンデスの厳しい自然と、**人物の生き生きとした表情が、力強い筆致**で描かれており、神話的なお話に調和しています。

だごだごころころ 石黒渚子・梶山俊夫再話 梶山俊夫絵 福音館書店 31cm 32p 0000346925

じいさんが食べようとしたとたん、だご（だんご）はころころと穴の中へ。それを追いかけたばあさんは赤鬼たちにせがまれ、だごを山のようにつくることになります。**のんびりとした口調の昔語り**が味わい深く楽しめます。

たなばた ―中国の昔話― 君島久子再話 初山 滋絵 福音館書店 20×27cm 28p 0011851816

牛飼いの妻となり人間の世界で暮らす織姫。それを知った王母さまは織姫を天に連れ戻しますが、牛飼いと子どもが織姫を慕って泣くのを哀れんで、年に一度カササギが架けた橋の上で会うことを許します。**幻想的な味わいの絵本**です。

てぶくろ ―ウクライナ民話― エフゲーニ・ラチョフ絵 うちだ りさこ訳 福音館書店 28cm 16p 0000228682

森に落ちた手袋にネズミ、カエル、ウサギ、と動物たちが入っていきます。**大きな動物までどんどん入っていく面白さ**に加えて、だんだんに膨らんで家のようになっていく手袋の**絵の細部**を見るのも楽しみです。

ねむりひめ グリム兄弟原作 フェリクス・ホフマン絵 せた ていじ訳 福音館書店 31cm 32p 0000226269

13番目の占い女に呪いをかけられた美しい姫は、100年の眠りにおちます。100年目に訪れた王子が城に入ると、そこではあらゆるものが眠っていました。**大胆な画面構成と繊細な描写**が昔話の世界をよく表しています。

ももたろう 松居 直著 赤羽末吉絵 福音館書店 21×22cm 40p 0000183447

桃から生まれた桃太郎が、犬、猿、キジをお供にして、鬼が島へ鬼退治に向かいます。おなじみの昔話を**大胆な構図**を用いて、墨絵のタッチで**力強く**描き出しています。**リズムカルな文章**も読んでいて楽しめます。